

【洋画専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
洋画専攻教育目標			洋画専攻では、「個性の尊重」「オリジナリティの追究」「制作におけるプロセスの重視」を教育方針とし、現代社会に対応した多様な美術表現の知識と技術を兼ね備え、芸術活動をもって社会活動・創造活動のできる人材の育成を教育目標とする。					
洋画専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	知識・理解	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部共通	必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	西洋美術全史	◎		○	○	
			日本美術全史	◎		○	○	
		選択	美術選択実技A(油彩画)		◎		◎	
			美術選択実技A(リトグラフ)		◎		◎	
			美術選択実技A(日本画)		◎		◎	
			美術選択実技A(彫塑)		◎		◎	
			美術選択実技A(立体)		◎		◎	
			美術選択演習A(素描／描写)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(パネル作製)		◎		◎	
			美術選択演習A(紙)		◎		◎	
			美術選択演習A(日本画)		◎		◎	
			美術選択演習A(金工／ジュエリー)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(繊維／フェルト)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(CG)		◎		◎	○
			美術選択演習A(写真)		◎		◎	○
			美術選択演習A(メディア)		◎		◎	○
			絵画素材論A	◎		○	○	
	専攻・領域専門	必修	絵画ⅠA		◎		◎	◎
			絵画ⅠB		◎	○	◎	○
			デッサンⅠ		◎		◎	
			基礎構成演習	○	◎		◎	◎

【洋画専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科の教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
洋画専攻の教育目標			洋画専攻では、「個性の尊重」「オリジナリティの追究」「制作におけるプロセスの重視」を教育方針とし、現代社会に対応した多様な美術表現の知識と技術を兼ね備え、芸術活動をもって社会活動・創造活動のできる人材の育成を教育目標とする。					
洋画専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
2	学科共通	選択	美術選択実技B(油彩画)		◎		◎	
			美術選択実技B(古典技法)		◎		◎	
			美術選択実技B(銅版画)		◎		◎	
			美術選択実技B(彫塑)		◎		◎	
			美術選択演習B(素描／描写)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(パネル作製)		◎		◎	
			美術選択演習B(紙)		◎		◎	
			美術選択演習B(日本画)		◎		◎	
			美術選択演習B(金工／ジュエリー)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(繊維／フェルト)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(写真)		◎		◎	○
			美術選択演習B(メディア)		◎		◎	○
			美術選択演習B(製本)		◎		◎	
			美術選択演習B(3D・CG初級)		◎		◎	○
			美術選択演習B(3D・CG中級)		◎		◎	○
			絵画素材論B	◎		○	○	
			石彫		◎	○	◎	
		【2～4年次】 選択必修	アート・プラクティスⅠ		◎	◎	◎	◎
			アート・プラクティスⅡ		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティビティA		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティビティB		◎	◎	◎	◎
			色彩文化概論	◎		○	○	
			配色調和論	◎		○	○	
			視覚心理学	◎		○	○	
			カラーキャリアⅠ	◎		○	○	
			カラーキャリアⅡ	◎		○	○	
			技法史	◎		○	○	
			文化資源学	◎		○	○	
ヴィジュアルスタディーズA	◎		○	○				
ヴィジュアルスタディーズB	◎		○	○				

【洋画専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
洋画専攻教育目標			洋画専攻では、「個性の尊重」「オリジナリティの追究」「制作におけるプロセスの重視」を教育方針とし、現代社会に対応した多様な美術表現の知識と技術を兼ね備え、芸術活動をもって社会活動・創造活動のできる人材の育成を教育目標とする。					
洋画専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
2	学科共通	【2～4年次】選択必修	デザイン批評A	◎		○	○	
			デザイン批評B	◎		○	○	
			芸術人類学	◎		○	○	
			芸術民俗学	◎		○	○	
			芸術政策と法	◎		○	○	
			創作活動と法	◎		○	○	
		【2～4年次】選択	芸術文化オープンゼミⅠ		◎	◎	◎	◎
	専攻・領域専門	絵画コース必修	絵画ⅡA		◎		◎	◎
			絵画ⅡB		◎	○	◎	◎
			デッサンⅡ		◎	○	◎	
		版画コース必修	版画Ⅰ		◎		◎	◎
			デッサンⅡ		◎		◎	
			版画表現演習Ⅰ	◎		◎	○	
3	学科共通	【3～4年次】選択	芸術文化オープンゼミⅡ		◎	◎	◎	◎
			美術教育論A	◎		◎		◎
			美術教育論B	◎		◎		◎
	専攻・領域専門	絵画コース必修	絵画ⅢA		◎	○	◎	◎
			絵画ⅢB	○	◎		◎	◎
		版画コース必修	版画Ⅱ		◎		◎	◎
			素材実験Ⅰ		◎	○	○	
			版画表現演習Ⅱ		◎	○	○	◎
4	学科共通	【4年次】選択	芸術文化オープンゼミⅢ		◎	◎	◎	◎
	専攻・領域専門	絵画コース必修	絵画Ⅳ		◎	○	◎	◎
			卒業制作	○	◎		◎	◎
		版画コース必修	版画Ⅲ		◎		◎	◎
			素材実験Ⅱ		◎		◎	
			卒業制作		◎		◎	◎

【日本画専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
日本画専攻教育目標			日本画専攻では、日本画制作を軸に、日本画の材料・素材研究や古典絵画の研究を連動させ、幅広い視点から日本画を総合的に学び、日本画の伝統をふまえて、個々の豊かな資質・若い感性を活かした次代の新しい日本画の創造に主体的に取り組める人材の育成を教育目標とする。					
日本画専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部共通	必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	西洋美術全史	◎		○	○	
			日本美術全史	◎		○	○	
		選択必修	美術共通実技Aa(洋画)		◎		◎	
			美術共通実技Ab(版画)		◎		◎	
			美術共通実技Ac(日本画)		◎		◎	
			美術共通実技Ad(彫塑)		◎		◎	
			美術共通演習Aa(技法－素描)		◎	○	◎	
			美術共通演習Ab(技法－絵画)		◎		◎	○
			美術共通演習Ac(技法－顔料・日本画)		◎		◎	
			美術共通演習Ad(コンピュータ写真)		◎		◎	○
			美術共通演習Ae(コンピュータメディア)		◎		◎	○
			美術共通演習Af(素材－木・紙)		◎		◎	
			美術共通演習Ag(素材－金属)		◎	○	◎	
			美術共通演習Ah(素材－フェルト)		◎	○	◎	
2	専攻・領域専門	必修	日本画基礎 I A		◎		◎	◎
			日本画基礎 I B		◎		◎	◎
	学科共通	選択必修	美術共通実技Ba(洋画)		◎		◎	
			美術共通実技Bb(絵画－モザイク)		◎		◎	
			美術共通実技Bc(版画)		◎		◎	
			美術共通実技Bd(日本画)		◎		◎	
			美術共通実技Be(彫塑)		◎		◎	
			美術共通演習Ba(技法－素描)		◎	○	◎	
			美術共通演習Bb(技法－絵画)		◎		◎	○
			美術共通演習Bc(技法－顔料・日本画)		◎		◎	
			美術共通演習Bd(コンピュータ写真)		◎		◎	○
			美術共通演習Be(コンピュータメディア)		◎		◎	○
			美術共通演習Bf(素材－木・紙)		◎		◎	
			美術共通演習Bg(素材－金属)		◎	○	◎	
			美術共通演習Bh(素材－フェルト)		◎	○	◎	

【日本画専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
日本画専攻教育目標			日本画専攻では、日本画制作を軸に、日本画の材料・素材研究や古典絵画の研究を連動させ、幅広い視点から日本画を総合的に学び、日本画の伝統をふまえて、個々の豊かな資質・若い感性を活かした次代の新しい日本画の創造に主体的に取り組める人材の育成を教育目標とする。					
日本画専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。「技能・表現」
2	学科 共通	【2～4年次】 選択必修	アート・プラクティスⅠ		◎	◎	◎	◎
			アート・プラクティスⅡ		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティビティA		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティビティB		◎	◎	◎	◎
			色彩文化概論	◎		○	○	
			配色調和論	◎		○	○	
			視覚心理学	◎		○	○	
			カラーキャリアⅠ	◎		○	○	
			カラーキャリアⅡ	◎		○	○	
			技法史	◎		○	○	
			文化資源学	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズA	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズB	◎		○	○	
			デザイン批評A	◎		○	○	
			デザイン批評B	◎		○	○	
			芸術人類学	◎		○	○	
			芸術民俗学	◎		○	○	
			芸術政策と法	◎		○	○	
			創作活動と法	◎		○	○	
		【2～4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅠ		◎	◎	◎	◎
	専攻・ 領域 専門	必修	日本画基礎ⅡA		◎		◎	◎
			日本画基礎ⅡB		◎		◎	◎
3	学科 共通	【3～4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅡ		◎	◎	◎	◎
			美術教育論A	◎		◎		◎
			美術教育論B	◎		◎		◎
	専攻・ 領域 専門	必修	日本画研究ⅠA		◎		◎	◎
			日本画研究ⅠB		◎		◎	◎
4	学科 共通	【4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅢ		◎	◎	◎	◎
	専攻・ 領域 専門	必修	日本画研究Ⅱ		◎		◎	◎
			卒業制作		◎		◎	◎

【日本画専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
日本画専攻教育目標			日本画専攻では、日本画制作を軸に、日本画の材料・素材研究や古典絵画の研究を連動させ、幅広い視点から日本画を総合的に学び、日本画の伝統をふまえて、個々の豊かな資質・若い感性を活かした次代の新しい日本画の創造に主体的に取り組める人材の育成を教育目標とする。					
日本画専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	知識・理解	思考・判断	技能・表現	知識・理解	思考・判断
1	学部共通	必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	西洋美術全史	◎		○	○	
			日本美術全史	◎		○	○	
		選択	美術選択実技A(油彩画)		◎		◎	
			美術選択実技A(リトグラフ)		◎		◎	
			美術選択実技A(日本画)		◎		◎	
			美術選択実技A(彫塑)		◎		◎	
			美術選択実技A(立体)		◎		◎	
			美術選択演習A(素描／描写)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(パネル作製)		◎		◎	
			美術選択演習A(紙)		◎		◎	
			美術選択演習A(日本画)		◎		◎	
			美術選択演習A(金工／ジュエリー)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(繊維／フェルト)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(CG)		◎		◎	○
			美術選択演習A(写真)		◎		◎	○
			美術選択演習A(メディア)		◎		◎	○
			絵画素材論A	◎		○	○	
	専攻・領域専門	必修	日本画基礎ⅠA		◎		◎	◎
			日本画基礎ⅠB		◎		◎	◎
2	学科共通	選択	美術選択実技B(古典技法)		◎		◎	
			美術選択実技B(銅版画)		◎		◎	
			美術選択実技B(彫塑)		◎		◎	
			美術選択実技B(日本画)		◎		◎	
			美術選択演習B(素描／描写)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(パネル作製)		◎		◎	
			美術選択演習B(紙)		◎		◎	
			美術選択演習B(日本画)		◎		◎	
			美術選択演習B(金工／ジュエリー)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(繊維／フェルト)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(写真)		◎		◎	○
			美術選択演習B(メディア)		◎		◎	○
			美術選択演習B(製本)		◎		◎	
			美術選択演習B(3D・CG初級)		◎		◎	○
			美術選択演習B(3D・CG中級)		◎		◎	○
			絵画素材論B	◎		○	○	
			石彫		◎	○	◎	

【日本画専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
日本画専攻教育目標			日本画専攻では、日本画制作を軸に、日本画の材料・素材研究や古典絵画の研究を連動させ、幅広い視点から日本画を総合的に学び、日本画の伝統をふまえて、個々の豊かな資質・若い感性を活かした次代の新しい日本画の創造に主体的に取り組める人材の育成を教育目標とする。					
日本画専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。「技能・表現」
2	学科 共通	【2～4年次】 選択必修	アート・プラクティスⅠ		◎	◎	◎	◎
			アート・プラクティスⅡ		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティビティA		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティビティB		◎	◎	◎	◎
			色彩文化概論	◎		○	○	
			配色調和論	◎		○	○	
			視覚心理学	◎		○	○	
			カラーキャリアⅠ	◎		○	○	
			カラーキャリアⅡ	◎		○	○	
			技法史	◎		○	○	
			文化資源学	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズA	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズB	◎		○	○	
			デザイン批評A	◎		○	○	
			デザイン批評B	◎		○	○	
			芸術人類学	◎		○	○	
			芸術民俗学	◎		○	○	
			芸術政策と法	◎		○	○	
			創作活動と法	◎		○	○	
		【2～4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅠ		◎	◎	◎	◎
	専攻・ 領域 専門	必修	日本画基礎ⅡA		◎		◎	◎
			日本画基礎ⅡB		◎		◎	◎
3	学科 共通	【3～4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅡ		◎	◎	◎	◎
			美術教育論A	◎		◎		◎
			美術教育論B	◎		◎		◎
	専攻・ 領域 専門	必修	日本画研究ⅠA		◎		◎	◎
			日本画研究ⅠB		◎		◎	◎
4	学科 共通	【4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅢ		◎	◎	◎	◎
	専攻・ 領域 専門	必修	日本画研究Ⅱ		◎		◎	◎
			卒業制作		◎		◎	◎

【立体アート専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
立体アート専攻教育目標			立体アート専攻では、芸術の本質を見据え、彫刻という枠と従来の素材・様式などに捉われない独創的な造形表現を追求し、立体造形に関する専門的な知識や高度な技術の上に、豊かな感性と深い洞察力を有する人材の育成を教育目標とする。					
立体アート専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部 共通	【1～2年次】 選択必修	図学A	○	○		◎	
			図学B	○	○		◎	
			基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科 共通	必修	西洋美術全史	◎		○	○	
			日本美術全史	◎		○	○	
		選択	美術選択実技A(油彩画)		◎		◎	
			美術選択実技A(リトグラフ)		◎		◎	
			美術選択実技A(日本画)		◎		◎	
			美術選択実技A(彫塑)		◎		◎	
			美術選択実技A(立体)		◎		◎	
			美術選択演習A(素描／描写)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(パネル作製)		◎		◎	
			美術選択演習A(紙)		◎		◎	
			美術選択演習A(日本画)		◎		◎	
			美術選択演習A(金工／ジュエリー)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(繊維／フェルト)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(CG)		◎		◎	○
			美術選択演習A(写真)		◎		◎	○
			美術選択演習A(メディア)		◎		◎	○
			絵画素材論A	◎		○	○	
	専攻・ 領域 専門	必修	彫塑基礎 I		◎	○	◎	◎
			素材演習		◎		◎	◎
			絵画		◎		◎	◎
			彫塑概論	◎		○	○	
2	学科 共通	選択	美術選択実技B(古典技法)		◎		◎	
			美術選択実技B(銅版画)		◎		◎	
			美術選択実技B(立体)		◎		◎	
			美術選択演習B(素描／描写)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(パネル作製)		◎		◎	
			美術選択演習B(紙)		◎		◎	
			美術選択演習B(日本画)		◎		◎	
			美術選択演習B(金工／ジュエリー)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(繊維／フェルト)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(写真)		◎		◎	○
			美術選択演習B(メディア)		◎		◎	○
			美術選択演習B(製本)		◎		◎	
			美術選択演習B(3D・CG初級)		◎		◎	○
			美術選択演習B(3D・CG中級)		◎		◎	○
			絵画素材論B	◎		○	○	
			石彫		◎	○	◎	

【立体アート専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
立体アート専攻教育目標			立体アート専攻では、芸術の本質を見据え、彫刻という枠と従来の素材・様式などに捉われない独創的な造形表現を追求し、立体造形に関する専門的な知識や高度な技術の上に、豊かな感性と深い洞察力を有する人材の育成を教育目標とする。					
立体アート専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
2	学科 共通	【2～4年次】 選択必修	アート・プラクティスⅠ		◎	◎	◎	◎
			アート・プラクティスⅡ		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティビティA		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティビティB		◎	◎	◎	◎
			色彩文化概論	◎		○	○	
			配色調和論	◎		○	○	
			視覚心理学	◎		○	○	
			カラーキャリアⅠ	◎		○	○	
			カラーキャリアⅡ	◎		○	○	
			技法史	◎		○	○	
			文化資源学	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズA	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズB	◎		○	○	
			デザイン批評A	◎		○	○	
			デザイン批評B	◎		○	○	
			芸術人類学	◎		○	○	
			芸術民俗学	◎		○	○	
			芸術政策と法	◎		○	○	
			創作活動と法	◎		○	○	
		【2～4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅠ		◎	◎	◎	◎
	専攻・ 領域 専門	必修	彫塑基礎Ⅱ		◎	○	◎	◎
			素材実習		◎	○	◎	◎
			立体基礎		◎	○	◎	◎
			工芸		◎	○	◎	◎

【立体アート専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
立体アート専攻教育目標			立体アート専攻では、芸術の本質を見据え、彫刻という枠と従来の素材・様式などに捉われない独創的な造形表現を追求し、立体造形に関する専門的な知識や高度な技術の上に、豊かな感性と深い洞察力を有する人材の育成を教育目標とする。					
立体アート専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
3	学科 共通	【3～4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅡ		◎	◎	◎	◎
			美術教育論A	◎		◎		◎
			美術教育論B	◎		◎		◎
	専攻・ 領域 専門	必修	造形表現演習		◎	○	◎	◎
		選択必修	塑造ⅠA		◎	○	◎	◎
			塑造ⅠB		◎	○	◎	◎
			紙ⅠA		◎	○	◎	◎
			紙ⅠB		◎	○	◎	◎
			木ⅠA		◎	○	◎	◎
			木ⅠB		◎	○	◎	◎
			石ⅠA		◎	○	◎	◎
			石ⅠB		◎	○	◎	◎
			金属ⅠA		◎	○	◎	◎
			金属ⅠB		◎	○	◎	◎
4	学科 共通	【4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅢ		◎	◎	◎	◎
	専攻・ 領域 専門	選択必修	塑造Ⅱ		◎	○	◎	◎
			紙Ⅱ		◎	○	◎	◎
			木Ⅱ		◎	○	◎	◎
			石Ⅱ		◎	○	◎	◎
			金属Ⅱ		◎	○	◎	◎
		必修	卒業制作		◎	○	◎	◎

【美術教育専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
美術教育専攻教育目標			美術教育専攻では、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史・美術理論に関する幅広い知識と技術を兼ね備え、美術教育で社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
美術学科・洋画専攻のカリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部共通	【1～2年次】必修	図学A	○	○		◎	
			図学B	○	○		◎	
		必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	西洋美術全史	◎		○	○	
			日本美術全史	◎		○	○	
		選択	美術選択実技A(油彩画)		◎		◎	
			美術選択実技A(リトグラフ)		◎		◎	
			美術選択実技A(日本画)		◎		◎	
			美術選択実技A(彫塑)		◎		◎	
			美術選択実技A(立体)		◎		◎	
			美術選択演習A(素描／描写)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(パネル作製)		◎		◎	
			美術選択演習A(紙)		◎		◎	
			美術選択演習A(日本画)		◎		◎	
			美術選択演習A(金工／ジュエリー)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(繊維／フェルト)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(CG)		◎		◎	○
			美術選択演習A(写真)		◎		◎	○
			美術選択演習A(メディア)		◎		◎	○
			絵画素材論A	◎		○	○	
	専攻・領域専門	必修	造形表現基礎ⅠAa		◎		◎	
			造形表現基礎ⅠAb		◎		◎	◎
			造形表現基礎ⅠAc		◎		◎	◎
			造形表現基礎ⅠB		◎		◎	◎
			デッサンⅠ		◎		◎	
			デザイン・工芸選択実技B		◎		◎	
2	学科共通	選択	美術選択実技B(古典技法)		◎		◎	
			美術選択実技B(銅版画)		◎		◎	
			美術選択実技B(彫塑)		◎		◎	
			美術選択演習B(素描／描写)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(パネル作製)		◎		◎	
			美術選択演習B(紙)		◎		◎	
			美術選択演習B(日本画)		◎		◎	
			美術選択演習B(金工／ジュエリー)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(繊維／フェルト)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(写真)		◎		◎	○
			美術選択演習B(メディア)		◎		◎	○
			美術選択演習B(製本)		◎		◎	
			美術選択演習B(3D・CG初級)		◎		◎	○
			美術選択演習B(3D・CG中級)		◎		◎	○
			絵画素材論B	◎		○	○	
			石彫		◎	○	◎	

【美術教育専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
美術教育専攻教育目標			美術教育専攻では、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史・美術理論に関する幅広い知識と技術を兼ね備え、美術教育で社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
美術学科・洋画専攻のカリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。「技能・表現」
2	学科 共通	【2～4年次】 選択必修	アート・プラクティスⅠ		◎	◎	◎	◎
			アート・プラクティスⅡ		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティビティA		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティビティB		◎	◎	◎	◎
			色彩文化概論	◎		○	○	
			配色調和論	◎		○	○	
			視覚心理学	◎		○	○	
			カラーキャリアⅠ	◎		○	○	
			カラーキャリアⅡ	◎		○	○	
			技法史	◎		○	○	
			文化資源学	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズA	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズB	◎		○	○	
			デザイン批評A	◎		○	○	
			デザイン批評B	◎		○	○	
			芸術人類学	◎		○	○	
			芸術民俗学	◎		○	○	
			芸術政策と法	◎		○	○	
			創作活動と法	◎		○	○	
		【2～4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅠ		◎	◎	◎	◎
	専攻・ 領域 専門	選択必修	デザイン・工芸論A	◎		○	○	
			デザイン・工芸論B	◎		○	○	
		必修	造形表現基礎ⅡAa		◎		◎	◎
			造形表現基礎ⅡAb		◎		◎	◎
			造形表現基礎ⅡAc		◎		◎	◎
			造形表現基礎ⅡB		◎		◎	◎
			デッサンⅡ		◎		◎	
			美術教育演習A	◎		◎	○	◎
			美術科教育内容指導論A	◎		◎	○	◎

【美術教育専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
美術教育専攻教育目標			美術教育専攻では、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史・美術理論に関する幅広い知識と技術を兼ね備え、美術教育で社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
美術学科・洋画専攻のカリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
3	学科共通	必修	美術教育論A	◎		◎		◎
		【3～4年次】選択	芸術文化オープンゼミⅡ		◎	◎	◎	◎
			美術教育論B	◎		◎		◎
	専攻・領域専門	必修	造形表現研究ⅠAa		◎		◎	◎
			造形表現研究ⅠAb		◎		◎	◎
			造形表現研究ⅠAc		◎		◎	◎
			造形表現研究ⅠB		◎		◎	◎
			デッサンⅢ		◎		◎	
			デザイン・工芸選択実技A		◎		◎	
			美術教育演習B	◎		◎	○	◎
			美術科教育内容指導論B	◎		◎	○	◎
4	学科共通	【4年次】選択	芸術文化オープンゼミⅢ		◎	◎	◎	◎
	専攻・領域専門	必修	造形表現研究Ⅱ		◎		◎	◎
			卒業研究		◎		◎	◎

【芸術文化専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻教育目標			芸術文化専攻では文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、グローバルイゼーションに適応できる教養人、芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部共通	【1～2年次】 選択必修	コンピュータ入門A		◎		◎	◎
			コンピュータ入門B		◎		◎	◎
		必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	西洋美術全史	◎		○	○	
			日本美術全史	◎		○	○	
		選択必修	美術共通実技Aa(洋画)		◎		◎	
			美術共通実技Ab(版画)		◎		◎	
			美術共通実技Ac(日本画)		◎		◎	
			美術共通実技Ad(彫塑)		◎		◎	
			美術共通演習Aa(技法―素描)		◎	○	◎	
			美術共通演習Ab(技法―絵画)		◎		◎	○
			美術共通演習Ac(技法―顔料・日本画)		◎		◎	
			美術共通演習Ad(コンピューター写真)		◎		◎	○
			美術共通演習Ae(コンピューターメディア)		◎		◎	○
			美術共通演習Af(素材―木・紙)		◎		◎	
			美術共通演習Ag(素材―金属)		◎	○	◎	
			美術共通演習Ah(素材―フェルト)		◎	○	◎	
	専攻・領域専門	【1～4年次】 選択必修	デザイン・工芸論A	◎		○	○	
			デザイン・工芸論B	◎		○	○	
		必修	芸術文化基礎ⅠA	◎		○	○	
			芸術文化基礎ⅠB	○	◎		◎	◎
			芸術文化基礎ⅠC		◎		◎	◎
			グローバルコミュニケーションⅠ	○	◎		◎	◎
			海外芸術研修ⅠA	○	◎		◎	◎
			海外芸術研修ⅠB	○	◎		◎	◎
			日本文化研修A	◎		○	○	

【芸術文化専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科の教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻の教育目標			芸術文化専攻では文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、グローバルイゼーションに適応できる教養人、芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
2	学科共通	選択必修	美術共通実技Ba(洋画)		◎		◎	
			美術共通実技Bb(絵画－モザイク)		◎		◎	
			美術共通実技Bc(版画)		◎		◎	
			美術共通実技Bd(日本画)		◎		◎	
			美術共通実技Be(彫塑)		◎		◎	
			美術共通演習Ba(技法－素描)		◎	○	◎	
			美術共通演習Bb(技法－絵画)		◎		◎	○
			美術共通演習Bc(技法－顔料・日本画)		◎		◎	
			美術共通演習Bd(コンピューター写真)		◎		◎	○
			美術共通演習Be(コンピューターメディア)		◎		◎	○
			美術共通演習Bf(素材－木・紙)		◎		◎	
			美術共通演習Bg(素材－金属)		◎	○	◎	
			美術共通演習Bh(素材－フェルト)		◎	○	◎	
2	学科共通	【2～4年次】 選択必修	アート・プラクティスⅠ		◎	◎	◎	◎
			アート・プラクティスⅡ		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティヴィティA		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティヴィティB		◎	◎	◎	◎
			色彩文化概論	◎		○	○	
			配色調和論	◎		○	○	
			視覚心理学	◎		○	○	
			カラーキャリアⅠ	◎		○	○	
			カラーキャリアⅡ	◎		○	○	
			技法史	◎		○	○	
			文化資源学	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズA	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズB	◎		○	○	
			デザイン批評A	◎		○	○	
			デザイン批評B	◎		○	○	
			芸術人類学	◎		○	○	
			芸術民俗学	◎		○	○	
			芸術政策と法	◎		○	○	
			創作活動と法	◎		○	○	
		【2～4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅠ		◎	◎	◎	◎

【芸術文化専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻教育目標			芸術文化専攻では文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、グローバルイゼーションに適応できる教養人、芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
2	専攻・領域専門	【2～4年次】選択必修	印刷概論	◎		○	○	
			工芸史A(染織)	◎		○	○	
			工芸史B(陶ガラス)	◎		○	○	
		必修	芸術文化基礎ⅡA	◎		○	○	
			芸術文化基礎ⅡB	○	◎		◎	◎
			芸術文化基礎ⅡC		◎		◎	◎
			グローバルコミュニケーションⅡ	○	◎		◎	◎
			海外芸術研修ⅡA	○	◎		◎	◎
			海外芸術研修ⅡB	○	◎		◎	◎
			日本文化研修B	◎		○	○	
			芸術文化ゼミⅠ		◎	◎	◎	◎
3	学部共通	必修	古美術研究	◎		○	○	
	学科共通	必修	芸術文化オープンゼミⅡ		◎	◎	◎	◎
		【3～4年次】選択	美術教育論A	◎		◎		◎
			美術教育論B	◎		◎		◎
	専攻・領域専門	選択必修	芸術文化ゼミⅡ(芸術表象)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅡ(美術史)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅡ(色彩)		◎	◎	◎	◎
		必修	グローバルコミュニケーションⅢ	○	◎		◎	◎
4	学科共通	【4年次】選択	芸術文化オープンゼミⅢ		◎	◎	◎	◎
	専攻・領域専門	選択必修	芸術文化ゼミⅢ(芸術表象)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅢ(美術史)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅢ(色彩)		◎	◎	◎	◎
		必修	卒業研究		◎	◎	◎	◎

【芸術文化専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻教育目標			芸術文化専攻では文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、グローバルイゼーションに適応できる教養人、芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部共通	【1～2年次】 選択必修	コンピュータ入門A		◎		◎	◎
			コンピュータ入門B		◎		◎	◎
		必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	西洋美術全史	◎		○	○	
			日本美術全史	◎		○	○	
		選択	美術選択実技A(油彩画)		◎		◎	
			美術選択実技A(リトグラフ)		◎		◎	
			美術選択実技A(日本画)		◎		◎	
			美術選択実技A(彫塑)		◎		◎	
			美術選択実技A(立体)		◎		◎	
			美術選択演習A(素描／描写)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(パネル作製)		◎		◎	
			美術選択演習A(紙)		◎		◎	
			美術選択演習A(日本画)		◎		◎	
			美術選択演習A(金工／ジュエリー)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(繊維／フェルト)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(CG)		◎		◎	○
			美術選択演習A(写真)		◎		◎	○
			美術選択演習A(メディア)		◎		◎	○
			絵画素材論A	◎		○	○	
	専攻・領域専門	【1～4年次】 選択必修	デザイン・工芸論A	◎		○	○	
			デザイン・工芸論B	◎		○	○	
		必修	芸術文化基礎ⅠA	◎		○	○	
			芸術文化基礎ⅠB	○	◎		◎	◎
			芸術文化基礎ⅠC		◎		◎	◎
			グローバルコミュニケーションⅠ	○	◎		◎	◎
			海外芸術研修ⅠA	○	◎		◎	◎
			海外芸術研修ⅠB	○	◎		◎	◎
			日本文化研修A	◎		○	○	

【芸術文化専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科の教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻の教育目標			芸術文化専攻では文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、グローバルイゼーションに適応できる教養人、芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
2	学科共通	選択	美術選択実技B(古典技法)		◎		◎	
			美術選択実技B(銅版画)		◎		◎	
			美術選択実技B(彫塑)		◎		◎	
			美術選択演習B(素描／描写)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(パネル作製)		◎		◎	
			美術選択演習B(紙)		◎		◎	
			美術選択演習B(日本画)		◎		◎	
			美術選択演習B(金工／ジュエリー)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(繊維／フェルト)		◎	○	◎	
			美術選択演習B(写真)		◎		◎	○
			美術選択演習B(メディア)		◎		◎	○
			美術選択演習B(製本)		◎		◎	
			美術選択演習B(3D・CG初級)		◎		◎	○
			美術選択演習B(3D・CG中級)		◎		◎	○
			絵画素材論B	◎		○	○	
			石彫		◎	○	◎	
2	学科共通	【2～4年次】 選択必修	アート・プラクティスⅠ		◎	◎	◎	◎
			アート・プラクティスⅡ		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティビティA		◎	◎	◎	◎
			アート・アクティビティB		◎	◎	◎	◎
			色彩文化概論	◎		○	○	
			配色調和論	◎		○	○	
			視覚心理学	◎		○	○	
			カラーキャリアⅠ	◎		○	○	
			カラーキャリアⅡ	◎		○	○	
			技法史	◎		○	○	
			文化資源学	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズA	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズB	◎		○	○	
			デザイン批評A	◎		○	○	
			デザイン批評B	◎		○	○	
			芸術人類学	◎		○	○	
			芸術民俗学	◎		○	○	
			芸術政策と法	◎		○	○	
			創作活動と法	◎		○	○	
		【2～4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅠ		◎	◎	◎	◎

【芸術文化専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻教育目標			芸術文化専攻では文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、グローバルイゼーションに適応できる教養人、芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
2	専攻・領域専門	【2～4年次】 選択必修	印刷概論	◎		○	○	
			工芸史A(染織)	◎		○	○	
			工芸史B(陶ガラス)	◎		○	○	
		必修	芸術文化基礎ⅡA	◎		○	○	
			芸術文化基礎ⅡB	○	◎		◎	◎
			芸術文化基礎ⅡC		◎		◎	◎
			グローバルコミュニケーションⅡ	○	◎		◎	◎
			海外芸術研修ⅡA	○	◎		◎	◎
			海外芸術研修ⅡB	○	◎		◎	◎
			日本文化研修B	◎		○	○	
			芸術文化ゼミⅠ		◎	◎	◎	◎
3	学部共通	必修	古美術研究	◎		○	○	
	学科共通	必修	芸術文化オープンゼミⅡ		◎	◎	◎	◎
		【3～4年次】 選択	美術教育論A	◎		◎		◎
			美術教育論B	◎		◎		◎
	専攻・領域専門	選択必修	芸術文化ゼミⅡ(芸術表象)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅡ(美術史)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅡ(色彩)		◎	◎	◎	◎
		必修	グローバルコミュニケーションⅢ	○	◎		◎	◎
4	学科共通	【4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅢ		◎	◎	◎	◎
	専攻・領域専門	選択必修	芸術文化ゼミⅢ(芸術表象)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅢ(美術史)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅢ(色彩)		◎	◎	◎	◎
		必修	卒業研究		◎	◎	◎	◎

【ヴィジュアルデザイン専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
ヴィジュアルデザイン専攻教育目標			ヴィジュアルデザイン専攻では、デザインの基礎・造形理論・美の本質を理解し、グラフィックによるデザインを中心に関連分野の幅広いスキルを習得し、その過程で、客観的な視点や、デザインによる問題解決能力などを向上させ、社会の変化に対応し、的確で新鮮なヴィジュアルコミュニケーションができる人材の育成を教育目標とする。					
ヴィジュアルデザイン専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部 共通	選択必修	健康科学	◎	◎			
			スポーツ演習A～D	○	◎			
		必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科 共通	必修	デザイン・工芸選択実技A		◎	◎	◎	◎
			デザイン・工芸選択実技B		◎	◎	◎	◎
			デザイン・工芸論A	◎		○	○	
			デザイン・工芸論B	◎		○	○	
		選択	デザイン図法	○	◎	◎	◎	◎
		【1～3年次】 選択	コンピュータプレゼン演習A		◎	◎	◎	◎
			コンピュータプレゼン演習B		◎	◎	◎	◎
			色彩計画演習	○	◎	◎	◎	◎
			素材演習A		◎	◎	◎	◎
			素材演習B		◎	◎	◎	◎
			素材演習C		◎	◎	◎	◎
			素材演習D		◎	◎	◎	◎
			素材演習E		◎	◎	◎	◎
			素材演習F		◎	◎	◎	◎
			バリアフリー演習	◎		◎		◎
			人間工学論	◎		○	○	
			デザインと法	◎		○	○	
			展示計画論	◎		○	○	
			デザイン心理学	◎		○	○	
			デザインサーベイ論	◎		◎		◎
			インテリアデザイン論	◎	◎	○	○	
			環境論	◎	○	◎	○	◎
			日本服装史	◎		○	○	
			文様史	◎		○	○	
			伝統染織文化論	◎		○	○	
			テキスタイル表現論	◎		○	○	
			空間演出論	◎		○	○	
			現代造形論	◎		○	○	
			広告論	◎		○	○	○
			写真史	◎		○	○	

【ヴィジュアルデザイン専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
ヴィジュアルデザイン専攻教育目標			ヴィジュアルデザイン専攻では、デザインの基礎・造形理論・美の本質を理解し、グラフィックによるデザインを中心に関連分野の幅広いスキルを習得し、その過程で、客観的な視点や、デザインによる問題解決能力などを向上させ、社会の変化に対応し、的確で新鮮なヴィジュアルコミュニケーションができる人材の育成を教育目標とする。					
ヴィジュアルデザイン専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学科共通	【1～4年次】選択	造形演習A		◎	◎	◎	◎
			造形演習B		◎	◎	◎	◎
			造形演習C		◎	◎	◎	◎
			造形演習D		◎	◎	◎	◎
	専攻・領域専門	必修	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅰ-A		◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅰ-B		◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅰ-C		◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅰ-D		◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅰ-E		◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅰ-F		◎	◎	◎	◎
			表現演習Ⅰ		◎	◎	◎	◎
2	学科共通	必修	印刷概論	◎		○	○	
			ヴィジュアルデザイン概論	◎		○	○	
		選択	エコロジカルプランニング演習	◎			○	◎
			ライティング演習	◎	◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザイン概論	◎		○	○	
			環境デザイン概論	◎		○	○	
			工芸史A(染織)	◎		○	○	
			工芸史B(陶ガラス)	◎		○	○	
		【2～3年次】選択	マーケティング論	◎		○	○	○
			映像表現演習A		◎	◎	◎	◎
			映像表現演習B		◎	◎	◎	◎
			写真演習		◎	◎	◎	◎
			英語プレゼンテーション		◎	◎	◎	◎
		【2～4年次】選択	建築材料学	◎		◎	○	○
			建築生産Ⅰ	◎		◎	○	
			建築法規	◎		◎	○	
	専攻・領域専門	必修	ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅱ-A		◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅱ-B		◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅱ-C		◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅱ-D		◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅱ-E		◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン基礎演習Ⅱ-F		◎	◎	◎	◎
			表現演習Ⅱ-A		◎	◎	◎	◎
			表現演習Ⅱ-B		◎	◎	◎	◎

【ヴィジュアルデザイン専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
ヴィジュアルデザイン専攻教育目標			ヴィジュアルデザイン専攻では、デザインの基礎・造形理論・美の本質を理解し、グラフィックによるデザインを中心に関連分野の幅広いスキルを習得し、その過程で、客観的な視点や、デザインによる問題解決能力などを向上させ、社会の変化に対応し、的確で新鮮なヴィジュアルコミュニケーションができる人材の育成を教育目標とする。					
ヴィジュアルデザイン専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
3	専攻・領域専門	必修	ヴィジュアルデザイン演習Ⅰ-A	○	◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン演習Ⅰ-B	○	◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン演習Ⅰ-C	○	◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン演習Ⅰ-D	○	◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン演習Ⅰ-E	○	◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン演習Ⅰ-F	○	◎	◎	◎	◎
			表現演習Ⅲ-A	○	◎	◎	◎	◎
			表現演習Ⅲ-B	○	◎	◎	◎	◎
4	学科共通	選択	構造計画	◎		◎	○	
			建築設備	◎		◎	○	
			建築生産Ⅱ	◎		◎	○	
	専攻・領域専門	必修	ヴィジュアルデザイン演習Ⅱ-A	○	◎	◎	◎	◎
			ヴィジュアルデザイン演習Ⅱ-B	○	◎	◎	◎	◎
			卒業制作	○	◎	◎	◎	◎

【プロダクトデザイン】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
プロダクトデザイン専攻教育目標			プロダクトデザイン専攻では、社会において柔軟なデザイン活動ができるよう、学内外での実体験を通して、プロダクトデザイン本来の意味を理解し、専門領域としての基礎技術である「発想力」「技術力」「表現力」を習得した上で、各自の個性を生かし、高い美意識やデザイン能力を有する人材の育成を教育目標とする。					
プロダクトデザイン専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部共通	必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	デザイン・工芸選択実技A		◎	◎	◎	◎
			デザイン・工芸選択実技B		◎	◎	◎	◎
			デザイン・工芸論A	◎		○	○	
			デザイン・工芸論B	◎		○	○	
			デザイン図法	○	◎	◎	◎	◎
		【1～3年次】選択	コンピュータプレゼン演習A		◎	◎	◎	◎
			コンピュータプレゼン演習B		◎	◎	◎	◎
			色彩計画演習	○	◎	◎	◎	◎
			素材演習A		◎	◎	◎	◎
			素材演習B		◎	◎	◎	◎
			素材演習C		◎	◎	◎	◎
			素材演習D		◎	◎	◎	◎
			素材演習E		◎	◎	◎	◎
			素材演習F ※2014年度以降入学生		◎	◎	◎	◎
			バリアフリー演習	◎		◎		◎
			ヴァジュアルデザイン概論 ※2014年度以降入学生は2年次履修	◎		○	○	
			マーケティング論	◎		○	○	○
			人間工学論	◎		○	○	
			デザインと法	◎		○	○	
			展示計画論	◎		○	○	
			デザイン心理学	◎		○	○	
			デザインサーベイ論	◎		◎		◎
			インテリアデザイン論	◎	◎	○	○	
			環境論	◎	○	◎	○	◎
			日本服装史	◎		○	○	
			文様史	◎		○	○	
			伝統染織文化論	◎		○	○	
			テキスタイル表現論	◎		○	○	
			空間演出論	◎		○	○	
			現代造形論	◎		○	○	
			広告論 ※2014年度以降入学生	◎		○	○	○
			写真史 ※2014年度以降入学生	◎		○	○	

【プロダクトデザイン】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
プロダクトデザイン専攻教育目標			プロダクトデザイン専攻では、社会において柔軟なデザイン活動ができるよう、学内外での実体験を通して、プロダクトデザイン本来の意味を理解し、専門領域としての基礎技術である「発想力」「技術力」「表現力」を習得した上で、各自の個性を生かし、高い美意識やデザイン能力を有する人材の育成を教育目標とする。					
プロダクトデザイン専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学科共通	【1～4年次】選択	造形演習A		◎	◎	◎	◎
			造形演習B		◎	◎	◎	◎
			造形演習C		◎	◎	◎	◎
			造形演習D		◎	◎	◎	◎
	専攻・領域専門	必修	プロダクトデザイン基礎演習A		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザイン基礎演習B		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザイン基礎演習C		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザイン基礎演習D		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザイン基礎演習E		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザイン基礎演習F		◎	◎	◎	◎
			CG演習Ⅰ		◎	◎	◎	◎
			表現演習Ⅰ ※2015年度以降入学生		◎	◎	◎	◎
2	学科共通	必修	プロダクトデザイン概論	◎		○	○	
		選択	エコシカルプランニング演習	◎			○	◎
			ライティング演習	◎	◎	◎	◎	◎
			印刷概論	◎		○	○	
			環境デザイン概論	◎		○	○	
			工芸史A(染織)	◎		○	○	
			工芸史B(陶ガラス)	◎		○	○	
		【2～3年次】選択	映像表現演習A		◎	◎	◎	◎
			映像表現演習B		◎	◎	◎	◎
			写真演習		◎	◎	◎	◎
			英語プレゼンテーション		◎	◎	◎	◎
		【2～4年次】選択	建築材料学	◎		◎	○	○
			建築生産Ⅰ	◎		◎	○	
			建築法規	◎		◎	○	
	専攻・領域専門	必修	プロダクトデザイン演習A		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザイン演習B		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザイン演習C		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザイン演習D		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザイン演習E		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザイン演習F		◎	◎	◎	◎
			CG演習Ⅱ		◎	◎	◎	◎
			表現演習 ※2014年度以前入学生		◎	◎	◎	◎
			表現演習Ⅱ ※2015年度以降入学生		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザイン史	◎		○	○	

【プロダクトデザイン】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
プロダクトデザイン専攻教育目標			プロダクトデザイン専攻では、社会において柔軟なデザイン活動ができるよう、学内外での実体験を通して、プロダクトデザイン本来の意味を理解し、専門領域としての基礎技術である「発想力」「技術力」「表現力」を習得した上で、各自の個性を生かし、高い美意識やデザイン能力を有する人材の育成を教育目標とする。					
プロダクトデザイン専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
3	専攻・領域専門	選択必修	プロダクトデザインⅠ Aa		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザインⅠ Ab		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザインⅠ Ba		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザインⅠ Bb		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザインⅠ Ca		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザインⅠ Cb		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザインⅠ Da		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザインⅠ Db		◎	◎	◎	◎
		必修	3D-CG演習		◎	◎	◎	◎
4	学科共通	選択	構造計画	◎		◎	○	
			建築設備	◎		◎	○	
			建築生産Ⅱ	◎		◎	○	
	専攻・領域専門	選択必修	プロダクトデザインⅡ Aa		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザインⅡ Ab		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザインⅡ Ba		◎	◎	◎	◎
			プロダクトデザインⅡ Bb		◎	◎	◎	◎
		必修	卒業制作		◎	◎	◎	◎

【環境デザイン専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
環境デザイン専攻教育目標			環境デザイン専攻では、地域社会、あるいは全地球的な環境において、創造的なデザイン活動ができるよう、国際的な視野、異領域理解能力、そしてコミュニケーション能力を養い、社会の一員としてデザイン活動できる人材の育成を教育目標とする。					
環境デザイン専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部共通	必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	デザイン・工芸選択実技A		◎	◎	◎	◎
			デザイン・工芸選択実技B		◎	◎	◎	◎
			デザイン・工芸論A	◎		○	○	
			デザイン・工芸論B	◎		○	○	
			デザイン図法	○	◎	◎	◎	◎
		【1～3年次】選択	コンピュータプレゼン演習A		◎	◎	◎	◎
			コンピュータプレゼン演習B		◎	◎	◎	◎
			色彩計画演習	○	◎	◎	◎	◎
			素材演習A		◎	◎	◎	◎
			素材演習B		◎	◎	◎	◎
			素材演習C		◎	◎	◎	◎
			素材演習D		◎	◎	◎	◎
			素材演習E		◎	◎	◎	◎
			素材演習F ※2014年度以降入学生		◎	◎	◎	◎
			バリアフリー演習	◎		◎		◎
			ヴァジュアルデザイン概論 ※2014年度以降入学生は2年次履修	◎		○	○	
			マーケティング論	◎		○	○	
			人間工学論	◎		○	○	
			デザインと法	◎		○	○	
			展示計画論	◎		○	○	
			デザイン心理学	◎		○	○	
			デザインサーベイ論	◎		◎		◎
			インテリアデザイン論	◎	◎	○	○	
			環境論	◎	○	◎	○	◎
			日本服装史	◎		○	○	
			文様史	◎		○	○	
			伝統染織文化論	◎		○	○	
			テキスタイル表現論	◎		○	○	
			空間演出論	◎		○	○	
			現代造形論	◎		○	○	
			広告論 ※2014年度以降入学生	◎		○	○	○
			写真史 ※2014年度以降入学生	◎		○	○	

【環境デザイン専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
環境デザイン専攻教育目標			環境デザイン専攻では、地域社会、あるいは全地球的な環境において、創造的なデザイン活動ができるよう、国際的な視野、異領域理解能力、そしてコミュニケーション能力を養い、社会の一員としてデザイン活動できる人材の育成を教育目標とする。					
環境デザイン専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学科共通	【1～4年次】選択	造形演習A		◎	◎	◎	◎
			造形演習B		◎	◎	◎	◎
			造形演習C		◎	◎	◎	◎
			造形演習D		◎	◎	◎	◎
	専攻・領域専門	必修	環境デザイン基礎演習A		◎	○	◎	◎
			環境デザイン基礎演習B		◎	○	◎	◎
			環境デザイン基礎演習C		◎	○	◎	◎
			環境デザイン基礎演習D		◎	○	◎	◎
			環境デザイン基礎演習E		◎	○	◎	◎
			環境デザイン基礎演習F		◎	○	◎	◎
			CG演習		◎		◎	◎
2	学科共通	必修	環境デザイン概論	◎		○	○	
		選択	エコロジカルプランニング演習	◎			○	◎
			ライティング演習	◎	◎	◎	◎	◎
			印刷概論	◎		○	○	
			プロダクトデザイン概論	◎		○	○	
			工芸史A(染織)	◎		○	○	
			工芸史B(陶ガラス)	◎		○	○	
		【2～3年次】選択	映像表現演習A		◎	◎	◎	◎
			映像表現演習B		◎	◎	◎	◎
			写真演習		◎	◎	◎	◎
			英語プレゼンテーション		◎	◎	◎	◎
		【2～4年次】選択	建築材料学	◎		◎	○	○
			建築生産 I	◎		◎	○	
			建築法規	◎		◎	○	
	専攻・領域専門	必修	環境デザイン演習A		◎	○	◎	◎
			環境デザイン演習B		◎	○	◎	◎
			環境デザイン演習C		◎	○	◎	◎
			環境デザイン演習D		◎	○	◎	◎
			環境デザイン演習E		◎	○	◎	◎
			製図演習		◎		◎	◎
			CAD演習		◎		◎	◎
			プレゼン演習 I		◎	◎	◎	◎

【環境デザイン専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
環境デザイン専攻教育目標			環境デザイン専攻では、地域社会、あるいは全地球的な環境において、創造的なデザイン活動ができるよう、国際的な視野、異領域理解能力、そしてコミュニケーション能力を養い、社会の一員としてデザイン活動できる人材の育成を教育目標とする。					
環境デザイン専攻カリキュラム			芸術学部ディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
3	専攻・領域専門	選択必修	環境デザインⅠAa		◎	○	◎	◎
			環境デザインⅠAb		◎	○	◎	◎
			環境デザインⅠBa		◎	○	◎	◎
			環境デザインⅠBb		◎	○	◎	◎
			環境デザインⅠCa		◎	○	◎	◎
			環境デザインⅠCb		◎	○	◎	◎
			環境デザインⅠDa		◎	○	◎	◎
			環境デザインⅠDb		◎	○	◎	◎
			環境デザインⅠEa		◎	○	◎	◎
			環境デザインⅠEb		◎	○	◎	◎
		必修	構造演習		◎	◎	◎	◎
			プレゼン演習Ⅱ		◎	○	◎	◎
4	学科共通	選択	構造計画	◎		◎	○	
			建築設備	◎		◎	○	
			建築生産Ⅱ	◎		◎	○	
	専攻・領域専門	選択必修	環境デザインⅡAa		◎	○	◎	◎
			環境デザインⅡAb		◎	○	◎	◎
			環境デザインⅡBa		◎	○	◎	◎
			環境デザインⅡBb		◎	○	◎	◎
		必修	卒業制作	○	◎	○	◎	◎

【工芸専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
工芸専攻教育目標			工芸専攻では、伝統工芸から現代アートまで、時代に即した創作への発想力と表現力を身につけ、専門的な知識や高い技術力を備え、幅広く新しい視点で工芸を捉えることができる人材の育成を教育目標とする。					
工芸専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部共通	必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	デザイン・工芸選択実技A		◎	◎	◎	◎
			デザイン・工芸選択実技B		◎	◎	◎	◎
			デザイン・工芸論A	◎		○	○	
			デザイン・工芸論B	◎		○	○	
		選択	デザイン図法	○	◎	◎	◎	◎
		【1～3年次】選択	コンピュータプレゼン演習A		◎	◎	◎	◎
			コンピュータプレゼン演習B		◎	◎	◎	◎
			色彩計画演習	○	◎	◎	◎	◎
			素材演習A		◎	◎	◎	◎
			素材演習B		◎	◎	◎	◎
			素材演習C		◎	◎	◎	◎
			素材演習D		◎	◎	◎	◎
			素材演習E		◎	◎	◎	◎
			素材演習F ※2014年度以降入学生		◎	◎	◎	◎
			バリアフリー演習	◎		◎		◎
			ヴァジュアルデザイン概論 ※2014年度以降入学生は2年次履修	◎		○	○	
			マーケティング論	◎		○	○	○
			人間工学論	◎		○	○	
			デザインと法	◎		○	○	
			展示計画論	◎		○	○	
			デザイン心理学	◎		○	○	
			デザインサーベイ論	◎		◎		◎
			インテリアデザイン論	◎	◎	○	○	
			環境論	◎	○	◎	○	◎
			日本服装史	◎		○	○	
			文様史	◎		○	○	
			伝統染織文化論	◎		○	○	
			テキスタイル表現論	◎		○	○	
			空間演出論	◎		○	○	
			現代造形論	◎		○	○	
			広告論 ※2014年度以降入学生	◎		○	○	○
			写真史 ※2014年度以降入学生	◎		○	○	

【工芸専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
工芸専攻教育目標			工芸専攻では、伝統工芸から現代アートまで、時代に即した創作への発想力と表現力を身につけ、専門的な知識や高い技術力を備え、幅広く新しい視点で工芸を捉えることができる人材の育成を教育目標とする。					
工芸専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学科共通	【1～4年次】選択	造形演習A		◎	◎	◎	◎
			造形演習B		◎	◎	◎	◎
			造形演習C		◎	◎	◎	◎
			造形演習D		◎	◎	◎	◎
	専攻・領域専門	必修	工芸基礎(染)		◎	○	◎	◎
			工芸基礎(織)		◎	○	◎	◎
			工芸基礎(刺繍)		◎	○	◎	◎
			工芸基礎(陶)		◎	○	◎	◎
			工芸基礎(ガラス)		◎	○	◎	◎
			CG演習		◎		◎	◎
2	学科共通	選択必修	工芸史A(染織)	◎		○	○	
			工芸史B(陶ガラス)	◎		○	○	
		選択	エコロジカルプランニング演習	◎			○	◎
			ライティング演習	◎	◎	◎	◎	◎
			印刷概論	◎		○	○	
			プロダクトデザイン概論	◎		○	○	
			環境デザイン概論	◎		○	○	
		【2～3年次】選択	映像表現演習A		◎	◎	◎	◎
			映像表現演習B		◎	◎	◎	◎
			写真演習		◎	◎	◎	◎
			英語プレゼンテーション		◎	◎	◎	◎
		【2～4年次】選択	建築材料学	◎		◎	○	○
			建築生産Ⅰ	◎		◎	○	
			建築法規	◎		◎	○	
	専攻・領域専門	テキスタイルコース必修	染Ⅰ		◎	○	◎	◎
			織Ⅰ		◎	○	◎	◎
			刺繍Ⅰ		◎	○	◎	◎
			材料学A(繊維)	◎		○	○	
		陶・ガラスコース必修	陶Ⅰ		◎	○	◎	◎
			ガラスⅠ		◎	○	◎	◎
			材料学B(陶ガラス)	◎		○	○	

【工芸専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
デザイン・工芸学科教育目標			デザイン・工芸学科は、人と人とのコミュニケーション・人とモノの関わり・人と環境のあるべき姿の考察、及び独創的な創作活動の実践を通して、幅広い視野・技術・感性を養い、柔軟な思考に基づき時代に即応し活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
工芸専攻教育目標			工芸専攻では、伝統工芸から現代アートまで、時代に即した創作への発想力と表現力を身につけ、専門的な知識や高い技術力を備え、幅広く新しい視点で工芸を捉えることができる人材の育成を教育目標とする。					
工芸専攻カリキュラム			芸術学部ディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
3	専攻・領域専門	テキスタイルコース 選択必修	染ⅡA		◎	○	◎	◎
			染ⅡB		◎	○	◎	◎
			織ⅡA		◎	○	◎	◎
			織ⅡB		◎	○	◎	◎
			刺繍ⅡA		◎	○	◎	◎
			刺繍ⅡB		◎	○	◎	◎
		陶・ガラスコース 選択必修	陶ⅡA		◎	○	◎	◎
			陶ⅡB		◎	○	◎	◎
			ガラスⅡA		◎	○	◎	◎
			ガラスⅡB		◎	○	◎	◎
		必修	プレゼンテーション演習		◎	○	◎	◎
4	学科共通	選択	構造計画	◎		◎	○	
			建築設備	◎		◎	○	
			建築生産Ⅱ	◎		◎	○	
	専攻・領域専門	テキスタイルコース 選択必修	染Ⅲ		◎	○	◎	◎
			織Ⅲ		◎	○	◎	◎
			刺繍Ⅲ		◎	○	◎	◎
		陶・ガラスコース 選択必修	陶Ⅲ		◎	○	◎	◎
			ガラスⅢ		◎	○	◎	◎
		必修	卒業制作		◎	◎	◎	◎

【メディア表現領域】カリキュラムマップ

建学の精神				「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」				
芸術学部教育目標				芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。				
アート・デザイン表現学科の教育目標				アート・デザイン表現学科は、ヒューマニティーの視点からアートとデザインを捉え、双方の領域を横断・融合した活動を通して、斬新な感性とクリエイティブな発想、独創的な表現力を養い、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識、コミュニケーション能力を持った、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の育成を教育目標とする。				
メディア表現領域の教育目標				メディア表現領域では、人間の五感を理解し、人間生活の原点を考え、グローバルに変わり続けるメディア環境の中で適切な情報・表現を選び使う能力を養い、様々な表現への挑戦と時代や社会の状況に対応できるクリエイティブな人材の育成を教育目標とする。				
メディア表現領域カリキュラム				芸術学部のディプロマポリシー				
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部共通	必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	アート・デザイン表現基礎演習A		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習B		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習C		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習D		◎		◎	◎
			宇宙・人間・アート	◎		○		
			アート表現論	◎	◎			
			メディア概論	◎				
		【1～4年次】選択	ヒーリング・デザイン概論	◎	◎	◎		◎
			癒しの文化論	◎	◎	◎		◎
			ファッションデザイン史	◎				
			ファッション&テキスタイル概論	◎		◎		
			ミュージアムスタディ概論	◎	◎	◎		◎
			アートプロデュース概論	◎	◎			◎
	専攻・領域専門	必修	コミュニケーションデザイン演習A		◎		◎	
			コミュニケーションデザイン演習B		◎		◎	
			映像基礎演習		◎		◎	
			空間基礎演習		◎		◎	◎
2	学科共通	必修	アート・デザイン表現演習Ⅰ		◎	◎	◎	◎
		選択必修	メディアアート概論	◎			◎	
			演出概論	◎	◎		◎	
			メディアコミュニケーション論	◎	◎		◎	
			キャラクター文化論	◎			◎	◎
			国際交流文化概論A			◎		
			国際交流文化概論B			◎		
		【2～4年次】選択	カラーセラピー概論	◎	◎			
			絵本芸術論	◎				
			子どもの福祉デザイン概論	◎				
			伝統・先端		◎	◎		
			ファッション文化論					
			子ども発達論	◎		◎		
			現代文化概論	◎	◎			
			映像文化概論	◎		◎		◎
			ファンリレーションデザイン概論		◎	◎		

【メディア表現領域】カリキュラムマップ

建学の精神				「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」				
芸術学部の教育目標				芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。				
アート・デザイン表現学科の教育目標				アート・デザイン表現学科は、ヒューマニティーの視点からアートとデザインを捉え、双方の領域を横断・融合した活動を通して、斬新な感性とクリエイティブな発想、独創的な表現力を養い、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識、コミュニケーション能力を持った、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の育成を教育目標とする。				
メディア表現領域の教育目標				メディア表現領域では、人間の五感を理解し、人間生活の原点を考え、グローバルに変わり続けるメディア環境の中で適切な情報・表現を選び使う能力を養い、様々な表現への挑戦と時代や社会の状況に対応できるクリエイティブな人材の育成を教育目標とする。				
メディア表現領域カリキュラム				芸術学部のディプロマポリシー				
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
			プレゼンテーション技法論		◎			◎
	専攻・領域専門	必修	メディアアート演習Ⅰ		◎		◎	◎
			メディアデザイン演習Ⅰ		◎		◎	◎
			メディア空間演習		◎		◎	◎
			アートアニメーション演習	◎			◎	
			サウンドデザイン演習	◎			◎	
			ストーリー表現演習				◎	
			キャラクターデザイン演習		◎		◎	◎
3	学科共通	必修	アート・デザイン表現演習Ⅱ		◎		◎	
			デジタル知的財産概論	◎				
		選択必修	メディア文化論特講	◎				
			メディアマネジメント論	◎	◎			◎
			コンテンツプロデュース論		◎			◎
		【3～4年次】選択	芸術療法概論	◎	◎		◎	
			空間デザイン概論	◎	◎		◎	
			アンケート調査・分析法	◎		◎	◎	
			生態学	◎				
			心とアートの心理学			◎		
	専攻・領域専門	必修	メディアクリエイション演習		◎		◎	◎
			プロジェクト&コラボレーション演習		◎	◎	◎	◎
		選択必修	メディアアート演習ⅡA		◎		◎	
			メディアアート演習ⅡB		◎		◎	◎
			メディアデザイン演習ⅡA		◎		◎	
			メディアデザイン演習ⅡB		◎		◎	◎
	4	専攻・領域専門	必修	メディアクリエイション実習		◎		◎
卒業制作					◎		◎	

【ヒーリング表現領域】カリキュラムマップ

建学の精神				「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」				
芸術学部教育目標				芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。				
アート・デザイン表現学科の教育目標				アート・デザイン表現学科は、ヒューマニティーの視点からアートとデザインを捉え、双方の領域を横断・融合した活動を通して、斬新な感性とクリエイティブな発想、独創的な表現力を養い、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識、コミュニケーション能力を持った、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の育成を教育目標とする。				
ヒーリング表現領域の教育目標				ヒーリング表現領域では、ヒーリングや福祉を目的としながら、専門的な理論、知識と技術、独自の発想力と創造力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身に付け、各自の得意な表現を活かして質の高い作品づくりができる人材、公共空間でのヒーリング・アート、ヒーリング・デザインのコーディネイトができる企画力を持った人材、アートアクティビティの実践能力を身につけた人材の育成を教育目標とする。				
ヒーリング表現領域カリキュラム				芸術学部のディプロマポリシー				
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部共通	必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	アート・デザイン表現基礎演習A		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習B		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習C		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習D		◎		◎	◎
			宇宙・人間・アート	◎		○		
			アート表現論	◎	◎			
			ヒーリング・デザイン概論	◎	◎	◎		◎
			癒しの文化論	◎	◎	◎		◎
		【1～4年次】選択	メディア概論	◎				
			ファッションデザイン史	◎				
			ファッション&テキスタイル概論	◎		◎		
			ミュージアムスタディ概論	◎	◎	◎		◎
			アートプロデュース概論	◎	◎			◎
	専攻・領域専門	必修	素材表現演習A		◎		◎	
			素材表現演習B		◎		◎	
			キャラクター制作基礎演習			◎	◎	◎
			ワークショップ演習		◎	◎	◎	◎
2	学科共通	必修	アート・デザイン表現演習Ⅰ	○	◎	◎	○	◎
			キャラクター文化論	◎			◎	◎
			カラーセラピー概論	◎	◎			
		選択必修	絵本芸術論	◎				
			子どもの福祉デザイン概論	◎				
			伝統・先端		◎	◎		
			国際交流文化概論A			◎		
			国際交流文化概論B			◎		
		【2～4年次】選択	メディアアート概論	◎			◎	
			演出概論	◎	◎		◎	
			メディアコミュニケーション論	◎	◎		◎	
			ファッション文化論					
			子ども発達論	◎		◎		
			現代文化概論	◎	◎			
			映像文化概論	◎		◎		◎
			ファシリテーションデザイン概論		◎	◎		

【ヒーリング表現領域】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
アート・デザイン表現学科の教育目標			アート・デザイン表現学科は、ヒューマニティーの視点からアートとデザインを捉え、双方の領域を横断・融合した活動を通して、斬新な感性とクリエイティブな発想、独創的な表現力を養い、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識、コミュニケーション能力を持った、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
ヒーリング表現領域の教育目標			ヒーリング表現領域では、ヒーリングや福祉を目的としながら、専門的な理論、知識と技術、独自の発想力と創造力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけ、各自の得意な表現を活かして質の高い作品づくりができる人材、公共空間でのヒーリング・アート、ヒーリング・デザインのコーディネイトができる企画力を持った人材、アートアクティビティの実践能力を身につけた人材の育成を教育目標とする。					
ヒーリング表現領域カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
	専攻・領域専門	必修	プレゼンテーション技法論		◎			◎
			ヒーリング・デザイン実習A		◎		◎	
			ヒーリング・デザイン実習B		◎		◎	
			絵本制作基礎演習				◎	
			装丁技法演習				◎	
			壁画技法演習				◎	◎
			コンピュータグラフィックス演習				◎	
3	学科共通	必修	アート・デザイン表現演習Ⅱ		◎		◎	
			芸術療法概論	◎	◎		◎	
			空間デザイン概論	◎	◎		◎	
		【3～4年次】選択	メディア文化論特講	◎				
			デジタル知的財産概論	◎				
			メディアマネジメント論	◎	◎			◎
			コンテンツプロデュース論		◎			◎
			アンケート調査・分析法	◎		◎	◎	
			生態学	◎				
			心とアートの心理学			◎		
	専攻・領域専門	必修	ヒーリング・アートプロジェクト演習		◎		◎	◎
			プロジェクト&コラボレーション演習		◎	◎	◎	◎
		選択必修	キャラクター制作演習		◎		◎	◎
			形態表現演習		◎		◎	◎
			絵本制作演習		◎		◎	
			子どもの道具デザイン演習A		◎		◎	
			壁画制作演習		◎		◎	◎
			子どもの道具デザイン演習B				◎	◎
4	専攻・領域専門	必修	卒業制作		◎	◎	◎	◎
		選択必修	ヒーリング・クリエイションA		◎		◎	◎
			ヒーリング・クリエイションB		◎		◎	◎
			ヒーリング・クリエイションC		◎	◎	◎	
			ヒーリング・クリエイションD		◎	◎	◎	

【ファッションテキスタイル表現領域】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
アート・デザイン表現学科の教育目標			アート・デザイン表現学科は、ヒューマニティーの視点からアートとデザインを捉え、双方の領域を横断・融合した活動を通して、斬新な感性とクリエイティブな発想、独創的な表現力を養い、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識、コミュニケーション能力を持った、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
ファッションテキスタイル表現領域の教育目標			ファッションテキスタイル表現領域では、企画から制作、効果的なプレゼンテーションができる力を養い、企業との連携や、人と触れ合うフィールドワークなどの体験を通して、実社会の中でアートとデザインが果たす役割や価値を学ぶことを通して、女性の感性を生かしたアートとデザインを追及するプロフェッショナルな人材の育成を教育目標とする。					
ファッションテキスタイル表現領域カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
1	学部共通	必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	アート・デザイン表現基礎演習A		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習B		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習C		◎		◎	◎
			アート・デザイン表現基礎演習D		◎		◎	◎
			宇宙・人間・アート	◎		○		
			アート表現論	◎	◎			
			ファッションデザイン史	◎				
			ファッション&テキスタイル概論	◎		◎		
		【1～4年次】選択	メディア概論	◎				
			ヒーリング・デザイン概論	◎	◎	◎		◎
			癒しの文化論	◎	◎	◎		◎
			ミュージアムスタディ概論	◎	◎	◎		◎
			アートプロデュース概論	◎	◎			◎
	専攻・領域専門	必修	素材基礎演習		◎		◎	
			造形基礎演習		◎		◎	◎
2	学科共通	必修	アート・デザイン表現演習Ⅰ		◎	◎	◎	◎
			伝統・先端		◎	◎		
			ファッション文化論					
			子ども発達論	◎		◎		
		選択必修	国際交流文化概論A			◎		
			国際交流文化概論B			◎		
	学科共通	【2～4年次】選択	メディアアート概論	◎			◎	
			演出概論	◎	◎		◎	
			メディアコミュニケーション論	◎	◎		◎	
			キャラクター文化論	◎			◎	◎
			カラーセラピー概論	◎	◎			
			絵本芸術論	◎				
			子どもの福祉デザイン概論	◎				
			現代文化概論	◎	◎			
			映像文化概論	◎		◎		◎
			ファシリテーションデザイン概論		◎	◎		
			プレゼンテーション技法論		◎			◎

【ファッションテキスタイル表現領域】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
アート・デザイン表現学科教育目標			アート・デザイン表現学科は、ヒューマニティーの視点からアートとデザインを捉え、双方の領域を横断・融合した活動を通して、斬新な感性とクリエイティブな発想、独創的な表現力を養い、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識、コミュニケーション能力を持った、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
ファッションテキスタイル表現領域教育目標			ファッションテキスタイル表現領域では、企画から制作、効果的なプレゼンテーションができる力を養い、企業との連携や、人と触れ合うフィールドワークなどの体験を通して、実社会の中でアートとデザインが果たす役割や価値を学ぶことを通して、女性の感性を生かしたアートとデザインを追及するプロフェッショナルな人材の育成を教育目標とする。					
ファッションテキスタイル表現領域カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
2	専攻・領域専門	必修	ファッション演習A		◎		◎	◎
			ファッション演習B		◎		◎	◎
			テキスタイル演習A		◎		◎	
			テキスタイル演習B		◎		◎	
			感覚発達演習		◎		◎	◎
			子ども発達演習					
			コンピュータデザイン演習					
3	学科共通	必修	アート・デザイン表現演習Ⅱ		◎		◎	
			生態学	◎				
			心とアートの心理学			◎		
		【3～4年次】選択	メディア文化論特講	◎				
			デジタル知的財産概論	◎				
			メディアマネージメント論	◎	◎			◎
			コンテンツプロデュース論		◎			◎
			芸術療法概論	◎	◎		◎	
			空間デザイン概論	◎	◎		◎	
			アンケート調査・分析法	◎		◎	◎	
	専攻・領域専門	必修	ファッションテキスタイルⅠA		◎		◎	◎
			ファッションテキスタイルⅠB		◎		◎	◎
			アートディレクション演習		◎			◎
4	専攻・領域専門	必修	ファッションテキスタイルⅡ		◎	◎	◎	◎
			着物文化演習					
			卒業制作		◎		◎	◎
			身体衣服論					

【アートプロデュース表現領域】カリキュラムマップ

建学の精神				「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標				芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
アート・デザイン表現学科教育目標				アート・デザイン表現学科は、ヒューマニティーの視点からアートとデザインを捉え、双方の領域を横断・融合した活動を通して、斬新な感性とクリエイティブな発想、独創的な表現力を養い、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識、コミュニケーション能力を持った、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
アートプロデュース表現領域教育目標				アートプロデュース表現領域では、女性の視点に立ち、展覧会を中心に音楽、演劇、映像などに関わる、様々なアートプロデュースの基礎を学び、アートを通して、社会と人間をつなぐことを喜びとする社会貢献について理解を深め、複雑化・国際化する社会に対応できるアートプロデューサー、コーディネーター、ファシリテーターとなる人材の育成を教育目標とする。					
アートプロデュース表現領域カリキュラム				芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」	
1	学部共通	必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎	
		学科共通	必修	アート・デザイン表現基礎演習A		◎		◎	◎
	アート・デザイン表現基礎演習B				◎		◎	◎	
	アート・デザイン表現基礎演習C				◎		◎	◎	
	アート・デザイン表現基礎演習D				◎		◎	◎	
	宇宙・人間・アート			◎		○			
	アート表現論			◎	◎				
	ミュージアムスタディ概論			◎	◎	◎		◎	
	アートプロデュース概論			◎	◎			◎	
	【1～4年次】選択	メディア概論	◎						
		ヒーリング・デザイン概論	◎	◎	◎		◎		
		癒しの文化論	◎	◎	◎		◎		
		ファッションデザイン史	◎						
		ファッション&テキスタイル概論	◎		◎				
	専攻・領域専門	必修	コミュニケーションデザイン演習A		◎		◎		
			コミュニケーションデザイン演習B		◎		◎		
			映像基礎演習		◎		◎		
			空間基礎演習		◎		◎	◎	
	2	学科共通	必修	アート・デザイン表現演習Ⅰ		◎	◎	◎	◎
				国際交流文化概論A			◎		
国際交流文化概論B						◎			
現代文化概論				◎	◎				
映像文化概論				◎		◎		◎	
学科共通		【2～4年次】選択	メディアアート概論	◎			◎		
			演出概論	◎	◎		◎		
			メディアコミュニケーション論	◎	◎		◎		
			キャラクター文化論	◎			◎	◎	
			カラーセラピー概論	◎	◎				
			絵本芸術論	◎					
			子どもの福祉デザイン概論	◎					
			伝統・先端		◎	◎			
			ファッション文化論						
			子ども発達論	◎		◎			
			ファシリテーションデザイン概論		◎	◎			
			プレゼンテーション技法論		◎			◎	

【アートプロデュース表現領域】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
アート・デザイン表現学科教育目標			アート・デザイン表現学科は、ヒューマニティーの視点からアートとデザインを捉え、双方の領域を横断・融合した活動を通して、斬新な感性とクリエイティブな発想、独創的な表現力を養い、時代の変化に柔軟に対応できる深い知識、コミュニケーション能力を持った、国際社会の幅広い分野で創造的に活躍できる人材の育成を教育目標とする。					
アートプロデュース表現領域教育目標			アートプロデュース表現領域では、女性の視点に立ち、展覧会を中心に音楽、演劇、映像などに関わる、様々なアートプロデュースの基礎を学び、アートを通して、社会と人間をつなぐことを喜びとする社会貢献について理解を深め、複雑化・国際化する社会に対応できるアートプロデューサー、コーディネーター、ファンリテーターとなる人材の育成を教育目標とする。					
アートプロデュース表現領域カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分		授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。「技能・表現」
2	専攻・領域専門	必修	アートプロデュース演習Ⅰ		◎	◎		
			アートマネジメント演習Ⅰ	◎	◎	◎		◎
			ミュージアムスタディ演習Ⅰ		◎	◎		◎
			ミュージアム・エデュケーション演習Ⅰ	◎		◎		◎
			音楽プロデュース演習Ⅰ		◎		◎	
			舞台芸術プロデュース演習Ⅰ		◎	◎	◎	
			アートコミュニケーション演習	◎	◎			◎
3	学科共通	必修	アート・デザイン表現演習Ⅱ		◎		◎	
		【3～4年次】選択	メディア文化論特講	◎				
			デジタル知的財産概論	◎				
			メディアマネージメント論	◎	◎			◎
			コンテンツプロデュース論		◎			◎
			芸術療法概論	◎	◎		◎	
			空間デザイン概論	◎	◎		◎	
			アンケート調査・分析法	◎		◎	◎	
			生態学	◎				
			心とアートの心理学			◎		
	専攻・領域専門	必修	アートプロデュース演習Ⅱ				◎	◎
			アートマネジメント演習Ⅱ			◎	◎	◎
			ミュージアムスタディ演習Ⅱ		○	◎	◎	
			ミュージアム・エデュケーション演習Ⅱ	◎	◎		◎	◎
			音楽プロデュース演習Ⅱ		◎		◎	◎
			舞台芸術プロデュース演習Ⅱ		◎	◎	◎	
			ヒーリング・アートプロジェクト演習		◎		◎	◎
4	専攻・領域専門	必修	総合アートプロデュース実習		◎		◎	◎
			卒業研究		◎	◎	◎	◎

カリキュラムマップ（美術コース、デザインコース〔グラフィック・メディア・テキスタイル・スペース〕）

到達指標

1. 社会人にふさわしい教養、考え方を身につけたか。
2. 美術、デザインの専門能力を修得し、広い視野と洞察力によって独自の発想を表現することができるか。
3. 自らの創作について、他者に伝えるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につけたか。
4. 美術、デザインの活動を通じて、広く社会に貢献できる能力を身につけたか。

★専門科目

開講 時期	期	科目名	到達指標			
			1	2	3	4
1 年次生	前期	基礎造形	○			
		造形概論	○			
	後期	美術		○		
		造形研究Ⅰ	○	○		
		造形表現Ⅰ	○	○		
		西洋美術史 A	○	○		
		日本美術史 A	○	○		
		コンピュータ実習		○	○	
		デザイン基礎Ⅰ		○	○	
		デザイン基礎Ⅱ		○	○	
		情報デザイン概論	○	○		
		装飾デザイン概論	○	○		
		空間デザイン概論	○	○		
		染織概論	○	○		
		ニューメディア概論	○	○		
		環境演出論	○	○		
2 年次生	前期	造形論	○	○		
		共通プログラム	○	○		○
		テキスタイルデザイン概論		○		
		情報メディア論		○		
		絵画		○		
		彫塑		○		
		造形研究Ⅱ		○		
		造形表現Ⅱ		○		
		デザイン表現Ⅰ		○	○	
		デザイン表現Ⅱ		○	○	
		デザイン表現Ⅲ		○	○	
		デザイン表現Ⅳ		○	○	
	後期	プロダクトデザイン論		○	○	
		卒業制作		○	○	

★共通科目

開講 時期	期	科目名	到達指標			
			1	2	3	4
1 年次生	前期	音楽	○			
		日本国憲法	○			
		教育原論	○			
		保育原理	○			
		保育の心理学	○			
		コンピュータ入門 B	○			
		スポーツ演習 A～C	○			
		デザイン史	○			
		図学	○			
		色彩学	○			
		造形材料学	○			
		写真概論	○			
		基礎学習ゼミ	○			
		社会福祉学	○			
	後期	哲学	○			
		数理科学	○			
		コミュニケーション論	○		○	
		スポーツ演習 A～D	○			
		子どもの保健・食・栄養	○			
		西洋美術史 B	○	○		
		美術解剖学	○			
		ジェンダー論	○			
	通年	キャリア形成	○		○	
		児童家庭福祉学	○			
		英語Ⅰ	○			
		英会話	○			
		フランス語（初級）	○			
		健康科学	○			
		国際留学プログラム	○			
		サービス・ラーニング	○		○	
2 年次生	前期	インターンシップ A～D	○			○
		美学概論	○			
		デザイン法令論	○			
		CAD 演習	○	○		
		記号論		○		
		ジェンダーアート入門	○			
		芸術と知的財産権	○			
	後期	歴史学	○			
		文学	○			
		生命科学	○			
		日本美術史 B	○			
		東洋美術史	○			
		現代美術論	○			
		インテリア概論	○			
		広告論	○		○	
	通年	写真実習	○	○		
		英語Ⅱ	○			
		色彩学演習	○	○		

※ カリキュラムマップとは、到達指標が、どの授業科目でどのように達成されるかの相関関係を一覧表にしたもの